

東アジアからみた日本の城郭

～日中韓城郭用語集作成に向けて～

ICOFORT国内学術委員会(NSC ICOFORT)では、日中韓の城郭用語集作成に向けた比較研究を進めており、3カ国の専門家が集まる定期的なオンライン研究会合の開催と、11月初頭に南京で開催されたICOFORT国際会議での議論を通じて、共通する文化的基盤の上にながら、その概念が必ずしも一致しない日中韓の城郭をめぐる、地政学、軍学、都市計画、建築土木技術といった様々なアプローチから検討を重ねている。

本研究会では、日中韓城郭用語集作成作業の進捗に関する中間報告を行うとともに、3カ国の用語比較を通じて見えてきた城郭概念の違い等にフォーカスして意見交換を行いたい。

※ICOFORT (ICOMOS International Scientific Committee on Fortifications and Military Heritage) は、城郭と軍事遺産の保存維持管理を目的として2005年に設立されたイコモス国際学術委員会の一つである。同国内学術委員会であるNSC ICOFORTは、2022年に設置された。

■プログラム

趣旨説明／日中韓城郭用語集作成の目的と進捗

三宅理一(ICOFORTビューローメンバー／国内学術委員会主査)

堀と都市からみた日本の城郭

中井 均(滋賀県立大学 名誉教授)

建築と技術からみた日本の城郭

麓 和善(名古屋工業大学 名誉教授)

石垣からみた日本の城郭

濱田晋一(名古屋工業大学大学院 准教授)

ディスカッション～南京ICOFORTでの議論を踏まえて～

モデレーター:大田省一

パネリスト:中井均、麓和善、三宅理一、矢野和之、濱田晋一

閉会挨拶

矢野和之(日本イコモス国内委員会事務局長)

2023年12月15日(金)
18:00～20:00

オンライン開催

申込先：<http://ptix.at/0uplwQ>

